

# はなみずき

「はなみずき」の花言葉には「私の想いを受けとめてください」という意味があります。  
また、小林市にあふれる「花・水・木」など、いろいろな思いが込められています。



たかまどのみやはい  
『高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント宮崎地区予選』  
～白球のおもひで～ 小林太陽クラブスポーツ少年団

## ■ これ、知っちゃった？

～新体制を紹介します!!～

## ■ 委員会審査報告

## ■ 表決結果一覧

## ■ 一般質問

## ■ 政務活動費実績報告

## ■ 議場見学・議会傍聴

## ■ 市民の声

## ■ 語り継ぐ小林の歴史

## ■ 前田 隆博 議員のイチオシ!!

・・・P2～P3

・・・P4

・・・P5

・・・P6～P11

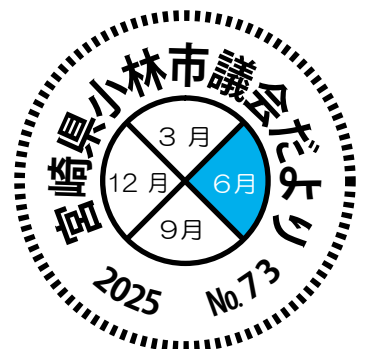
・・・P12

・・・P13

・・・P14

・・・P15

・・・裏表紙



令和7年8月1日発行

## 常任委員会

金松 勲 野田 利典  
委員 委員



貴嶋 憲太郎 竹内 龍一郎 橋本 律子 押領司 剛  
委員 委員長 副委員長 委員

有木 将吾 永野 雅己  
委員 委員



吉藤 洋子 高野 良文 松嶺 勇一 前田 隆博  
委員 委員長 副委員長 委員

原 勝信 小川 真  
委員 委員



大迫 みどり 能勢 誠 堀 研二郎 鎌田 豊数  
委員 委員長 副委員長 委員

橋本 律子 前田 隆博 永野 雅己 野田 利典  
委員 委員 委員 委員



原 勝信 堀 研二郎 小川 真 貴嶋 憲太郎  
委員 委員長 副委員長 委員

### 総務文教委員会（定数6人）

主な所管は、財政や危機管理の総務部門、健幸のまちづくりや地方創生の総合政策部門、学校や文化・スポーツの教育部門で、議案の審査や委員間討議を重ね、政策立案・政策提言に取り組めます。

本年度の重点テーマを2つ掲げました。1つ目は、少子化に伴い児童・生徒数が減少し、また、校舎等が老朽化しているため、学校の在り方について。2つ目は、区・組加入を促進させ、地域コミュニティの維持を図ることについてです。

### 経済産業委員会（定数6人）

物価高騰の影響による市民生活への負担はもとより、各産業においても厳しい経営状況に置かれています。また、少子高齢化と人口減少の進行による労働力不足といった問題が浮き彫りになってきています。

こうした状況の中、経済産業委員会としては市内の各産業の発展を支えることを念頭に置き、持続可能な地域経済と豊かな市民生活のため、新しい委員会メンバーと一丸となり、市政発展のために取り組んでまいります。

### 市民厚生委員会（定数6人）

市民厚生委員会では、新体制におけるテーマを「環境問題」と定め、幅広い視点から調査・研究を進めていきます。

現地視察や関係機関・団体との意見交換、先進事例の調査などを重ね、2年間かけて具体的な政策提言につなげる方針です。

福祉、子育て、ごみ処理など、市民生活や環境と深く関わる多様な課題に対し、委員会全体で総合的に向き合いながら、誰もが安心して暮らせる「健幸のまちづくり」の実現をめざして取り組んでまいります。

### 広報広聴委員会（定数8人）

広報広聴委員会は、議会の活動や議員の取組を分かりやすく皆様にお伝えし、議会と市民の橋渡しを担う委員会です。

新たな体制のもと、より親しみやすく、関心を持っていただけの広報を目指してまいります。議会だよりやホームページ、意見交換会などを通じて、皆様の声を市政に届ける工夫も進めてまいります。

小林市議会公式 YouTube チャンネルの登録もよろしくお願ひします！！



令和7年5月に新たな議会体制がスタートしました。  
今回の「これ、知っちゃった？」は、「議会構成」を特集します。

## 議長・副議長・議会選出監査委員



議長  
舞田 重治



副議長  
貴嶋 憲太郎



議会選出監査委員  
押領司 剛

## 議会運営委員会

能勢 誠 野田 利典 小川 真  
委員 委員 委員



吉藤 洋子 大迫 みどり 永野 雅己 松嶺 勇一  
委員 委員長 副委員長 委員

### 議会運営委員会（定数7人）

議会運営委員会は、各会派から選出された委員で構成され、議会を円滑に運営するため、会期や会議の進行、議案の取り扱いなどについて協議・意見調整します。

議会は議論する場であり、納得いくまで議論を尽くす民主的な運営に努めていきたいと思っています。意見の相違を大事に、話し合いを重視した議会運営に臨みます。

議会改革も他自治体に学び積極的に取り入れつつ、議会として守るべきところは慎重に検討していこうと思います。

これ、知っちゃった？  
新体制を  
紹介します！

## 令和7年第3回臨時会 表決結果一覧 (令和7年5月1日～5月2日)

### ◆全会一致の議案◆

| 議案番号          | 議案名                                                                | 表決結果               |
|---------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 報告案件<br>報告 5  | 専決処分の承認を求めること<br>市税条例の一部改正                                         | 承認                 |
| 報告 6          | 専決処分した事件の報告<br>市内店舗の駐車場において市有車両が一般車両に接触して発生した物損事故について、損害賠償の額を定めたもの | 報告に対する<br>質疑をもって終了 |
| 人事案件<br>議案 39 | 監査委員の選任<br>・押領司 剛（おうりょうじ つよし）議員                                    | 同意                 |



5月臨時会の  
録画配信ページ  
はこちら▲



◎議案の内容  
はこちら▲

## 令和7年第4回定例会 表決結果一覧 (令和7年6月6日～6月25日)

### ◆表決の分かれた議案◆

| 議案番号             | 議案名                                                                                         | 堀研二郎 | 小川真 | 能勢誠 | 野田利典 | 松嶺勇一 | 橋本律子 | 永野雅己 | 金松勲 | 有木将吾 | 押領司剛 | 前田隆博 | 貴嶋憲太郎 | 竹内龍一郎 | 舞田重治 | 吉藤洋子 | 原勝信 | 鎌田豊数 | 大迫みどり | 高野良文 | 表決結果 |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|------|------|-------|-------|------|------|-----|------|-------|------|------|
| R7 補正予算<br>議案 48 | 【6月25日追加議案】<br>一般会計補正予算（第3号）                                                                | ○    | ○   | ●   | ●    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     | －    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | 原案可決 |
| 条例関係<br>議案 49    | 【6月25日追加議案】<br>常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正<br>市職員による不祥事に対し管理監督責任を明らかにするため、市長及び副市長の7月分の給料を減額するもの | ○    | ○   | ●   | ●    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ●    | ○     | ○     | －    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | 原案可決 |

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除：法律により採決に加われない者 ー：議長は表決には加わらないため

### ◆全会一致の議案◆

| 議案番号             | 議案名                          | 表決結果 |
|------------------|------------------------------|------|
| R7 補正予算<br>議案 40 | 一般会計補正予算（第1号）                | 原案可決 |
| 議案 41            | 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）        | 原案可決 |
| 議案 42            | 病院事業会計補正予算（第1号）              | 原案可決 |
| 議案 46            | 【6月16日追加議案】<br>一般会計補正予算（第2号） | 原案可決 |

◎議案の内容  
はこちら▶



6月定例会  
提出議案

6月定例会の  
録画配信ページ  
はこちら▶



| 議案番号          | 議案名                                                                                    | 表決結果 |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 条例関係<br>議案 43 | 国民健康保険税条例の一部改正<br>国民健康保険税の基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を引き上げるとともに、低所得者に係る軽減判定所得の見直しを行うもの | 原案可決 |
| 議案 44         | 使用料の徴収に関する条例の一部改正<br>TENAMUビル公共スペース内に設置する豊かな学び支援室の学習室の独占利用について使用料の額を定めるもの              | 原案可決 |
| 議案 45         | 重度障がい者の医療費助成に関する条例の一部改正<br>重度障がい者医療費助成金の助成対象者に精神障がい者を加えるもの                             | 原案可決 |
| 議案 47         | 【6月16日追加議案】<br>非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償条例の一部改正<br>選挙長等の報酬の額を改定するもの                           | 原案可決 |

## 永年勤続の 表彰伝達がありました

原勝信議員が全国市議会議長会から表彰され、6月定例会において表彰状が伝達されました。  
市議会議員として10年にわたり市政の発展に尽くした功績によるものです。



議長室にて記念写真  
左：舞田議長 右：原議員



議場にて  
表彰伝達を受ける様子

## ～委員会審査報告～

6月定例会では、議案8件を委員会に付託し審査しました。  
■一般会計2件、特別会計1件、病院事業会計1件 ■条例改正 4件

### 総務文教委員会・分科会

#### ◆自治会の備品購入補助

（自治会活動推進事業費 予算額 500万円）

##### 《議案概要》

南西北区及び南堤区常会長会に屋外イベント、防災訓練等に必要となるテابل、プロジェクト、ワイヤレスマイク等の購入費用を補助するもの。

備品の購入先の要件は。

制約は設けられていない。地元企業から購入するよう依頼している。

#### ◆国勢調査員等の報酬額改定

（国勢調査費 予算額 531万円）

##### 《議案概要》

5年毎に実施される国勢調査の調査員及び指導員の報酬額を増額。

調査員・指導員の業務内容は。

調査員は、担当地区の世帯に調査票を配付・回収し、記載内容の検査を行う。指導員は、調査員から提出された調査票を検査し、また、調査員に対する指導・支援を行う。

国勢調査の周知・啓発に努め、きめ細やかな対応を行われない。

#### ◆住民の生命・財産を確保

（社会資本整備総合交付金事業費 予算額 448万円）

（自然災害防止急傾斜地崩壊対策事業費 予算額 1550万円）

##### 《議案概要》

通学路の安全確保と、孝ノ子2地区の工事請負費を増額する。

事業の採択要件は。

急傾斜地崩壊危険区域において、住民からの要望により傾斜度、高さ及び人家戸数などの条件が該当した箇所を市または県の事業で取り組む。

該当箇所の把握に努め、事業の推進を図り、隣接する住民の生命及び財産の確保に努められたい。

#### ◆プレミアム付商品券追加発行

（地域経済緊急支援事業費 予算額 3934万円）

##### 《議案概要》

9月上旬から12月末まで利用できるプレミアム付商品券を追加発行し、物価高騰による市民生活への支援を目的に6500円分の商品券を5000円で販売する。

これまで購入できなかった市民が購入できるよう努め、加盟店に十分な説明を行い、事業を進められたい。

### 市民厚生委員会・分科会

#### ◆地球に優しい介護施設

（老人ホーム等事業費（臨時） 予算額 755万円）

##### 《議案概要》

養護老人ホーム慈敬園の空調・照明設備等の更新に伴う、工事監理委託料を計上するもの。

工事期間中の入所者への影響は。

入所者への影響が最小限となるよう協議している。給湯設備の入替えにおいて、一定期間、外部の入浴施設等を利用することも検討中。

ESCO事業は、施設管理の効率化や財源確保等につながる。他の公共施設への応用も視野に入れ、十分な事業の効果検証に努められたい。

#### ◆放課後、笑顔咲く場所へ

（放課後児童健全育成事業費 予算額 683万円）

##### 《議案概要》

放課後児童クラブの運営費用を増額補正するもの。

現在の放課後児童クラブの待機児童数は。

定員591名に対し、約50名の待機児童がいる。

各クラブの実情や保護者のニーズを把握し、早急な対応に努められたい。

# 吉都線で地域魅力発信

**問** クルーズトレインななつ星 in 九州が令和4年10月20日に吉都線に入線し早3年。吉都線や本市への波及効果は。

**答** 地元の食材を使ったおもてなし弁当を提供し、食の魅力をアピール。また、通過時は子ども達が旗を振るなど、おもてなしする姿は乗客に感動を与えた。南小学校では吉都線を残すことや、ななつ星をもてなす意義について授業が行われ、吉都線の大切さを考える機運が高められた。

**問** ななつ星の入線を活かした今後の観光列車事業の企画や展開は。

**答** 本市の観光DMOが受入れに深く関わり、各観光地を巡るツアーで観光ガイドを活用。人材育成も図られてきた。西諸の広域的な観光推進協議

## ななつ星のラストラン



創生こばやし  
はら かつのぶ  
原 勝信 議員



詳しくは  
コチラ▶

観光DMOとは、地域の多様な関係者を巻き込みつつ、地域経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる法人。現在、小林まちづくり株式会社 が担っている。



ななつ星 in 九州の入線に感謝

## 吉都線利用促進

**問** 吉都線は3億円以上の赤字路線である。利用者の8割以上を占める高校生の意見をとり入れるべきでは。

**答** 市では小林高校の生徒が、総合的な探究の時間で研究した吉都線の活性化の内容を発表していただいた。利用者の声を利用促進につなげていきたい。

会で、これまで培ったノウハウを活かしていきたい。

# 物価高騰対策を早期に

**問** 低所得者や年金のみの高齢者世帯、自営業者への市独自の対策は。

**答** 独自の支援として耕種農家及び畜産農家に対する給付金、プレミアム付商品券の発行、学校給食費の増額分の支援を行っている。現在、国の交付金の追加決定を受け、効果的な物価高騰対策について検討を指示した。

**問** 時期はいつか。

**答** 調い次第、6月議会に提案する。

**市民の健康について**

**問** 日本人の2人に1人はがんになる可能性がある。現在のがん検診受診率の現状と、がん罹患者の要因の分析は。

**答** 市が実施しているがん検診においては、受診率や受診



立憲民主党  
たけうち りゅういちろう  
竹内 龍一郎 議員



詳しくは  
コチラ▶



物価高騰対策として商品券発行

**問** 広島県尾道市は、すい臓がん早期発見プロジェクト「尾道方式」を導入して成果を上げている。市でも検討は。

**答** 医師会や国、県の助言等をもたないながら検討していく。

者数は年々減少傾向にあり、対象者自体が減少している。要因分析は、遺伝子変異、ウイルス感染、喫煙や過度の飲酒、不健康な食生活など多岐にわたる。

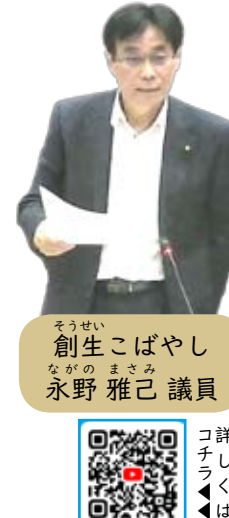
# 空き家利活用の可能性

**問** 空き家の状況は。

**答** 令和5年住宅・土地統計調査による市の空き家は4190戸で、そのうち賃貸・売却可能なもの等が920戸、その他が3270戸である。

**問** 高校生議会でも空き家を学習スペースに活用できないかという提案があった。空き家の利活用による若者の学習支援や地域の活性化の可能性は。

**答** 空き家対策として有効と認識している。しかしながら、学習スペースとしては既に整備された市の施設があり、個人の資産である空き家の利活用については、所有者の意向や修繕費、安全性、運営体制など課題が多く、公費での改修は難しいため、現時点で新たな仕組みづくりは検討していない。



創生こばやし  
ながの まさみ  
永野 雅己 議員



詳しくは  
コチラ▶



高校生による空き家活用調査報告

その他の質問  
■畜産等支援の実効性向上と受精卵移植推進協議会の現状と今後について

**問** 視野の拡大や進学後の環境適応能力向上につながるため、中学生の交流機会を創出する考えはあるか。

**答** 令和7年度からこすもす科の「未来予想図」という授業で、中学3年生同士の意見交換の取組を計画している。また、全ての小・中学校を訪問し、子どもたちの学びや交流に対するニーズを把握したいと考えている。

**生徒間の交流機会創出支援**

# まちづくりと共生社会

**問** ボランティア団体の現状と今後の対策は。

**答** 会員数が減少している団体の多くは、会員の高齢化が要因。子育て支援などの団体は会員が増加している。対策として、社会福祉協議会や市民活動支援センターなど、様々な団体と連携しながら、市民の理解促進や団体への活動の支援に努めていく。

**まちづくり基本条例の理念**

**問** 基本理念と市民の権利、責務を市長の言葉で分かりやすく伝えて。

**答** お互いに相手のことを思いやって前に進めること、相手の考えに寄り添うように手を引っ張っていくことだと思う。



小林の福祉を担う社会福祉センター

**意** 市や社会福祉協議会の若い職員は、アイデアも知恵もあり、行動力もある。ボランティア団体と手を取り、足並みをそろえ、半歩ずつでよいので進めてほしい。

# 観光DMO費用対効果

**補助金の妥当性検証**

**問** 観光DMO補助金はどの要綱に基づき、どのような補助率で交付されているのか。

**答** 小林市商工、観光等振興補助金交付要綱に基づき、令和6年度は、事業費約5167万円のうち、約4770万円（自主財源を除く）を全額補助している。

**問** 「肉井プロジェクト」の経済効果・費用対効果は。

**答** 16店舗が参加し、約1764万円の売上があった。事業全体の費用対効果はまだ検証していない。見えてきた課題を含め、今後検証していく。



観光誘致の起爆剤となるか

**人口減少に歯止めを**

**問** 人口減少対策に向けたリーディングプロジェクトの実施体制は。

**答** 「てなんど小林総合戦略」については、地方創生課が進捗を取りまとめている。部長を主体とする行政経営会議や、担当課の主幹・担当者間で、必要に応じて会議を行っている。

**意** 対策をどうするのか、知恵を出し合う仕組みや、プロジェクト分科会のような推進体制を設けるべきである。

# 稼ぐ力を確かなものに



**小林市の稼ぐ力**

**問** 本市の2018年の地域経済循環率は73・9%。一次産業の強みを活かした6次産業化や農商工連携の考えは。

**答** 小林市フードビジネス推進協議会で新商品開発から販路開拓・拡大まで一貫してサポートしている。

**問** 廉価な農畜産物の付加価値を高めるためにも、地元にもっと加工場があると売上げは伸びるという声があるが。

**答** 持続可能な農畜産業の振興に非常に有効な手段である。積極的な誘致に向けて取り組んでいく。

**地域経済循環率**とは、地域のお金とだけ地域内で回っているかを表す数値。100%に近いほど地域経済の自立度が高いと言える。



地元加工場で働く従業員

**小林市の入札制度**

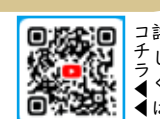
**問** 本年4月から入札制度が変わった経緯は。

**答** 一般競争入札対象の土木工事設計金額を、5000万円以上から2000万円以上に引き下げた。公正性・透明性・客観性を図り、地元建設業の持続的発展と地域経済発展を両立させることが目的である。

**問** 今後の方針は。

**答** 物価高騰などの社会情勢の変化等による国や他自治体の状況等も注視しながら、より適正な入札執行に努めている。

# 地方創生政策の転換を

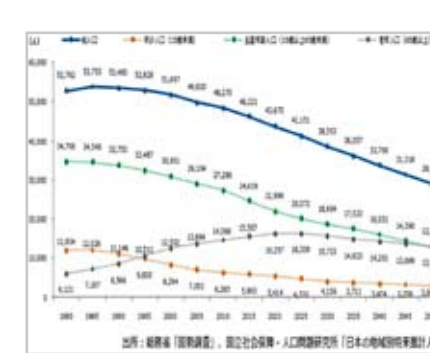


**問** 日本の総人口は2008年から減少局面に入った。地方創生政策の成果は上がらず、少子化と人口減少が進み、東京一極集中も悪化。合併で広域化した自治体は、周辺部の人口減少、少子高齢化が加速している。人口減においても生活の質が低下せず、幸せに生きていくまちづくりが必要では。

**答** 地域力が低下しないよう、行政も地域も持続可能となるまちづくりが必要。

**安心して子育てできる環境を**

**問** 子どもを産むかどうかを決める自由を保障し、希望する人が安心して子育てできるようにすることが市の責任。経済的理由は大きいと思うが。



住民と作る人口減少対応の計画を

**答** まずは国で議論されるべきだと思う。

**意** この社会のどこに問題があるか、検証なしに手立ては打てない。補助金を出すより無償化だと思う。

**持続可能なまちづくり**

**問** 地方創生政策の根幹にあるコンパクトシティに対する本市の考えは。

**答** 次の立地適正化計画では、中心市街地に集中したまちづくりを行うのではなく、それぞれの地域の特性を生かし、いかに持続的なまちづくりにしていくかということを考えている。



## 市長の管理監督責任は

**問** 職員の公用車による交通事故件数と再発防止対策は。

**答** 事故件数は、令和4年度3件、5年度6件、6年度8件。小林警察署から講師を招き、職員を対象とした法令講習会を令和5年度から実施している。

**問** 元職員の加重収賄事件における市長の管理監督責任は。

**答** 最高責任者であり、全職員に対し再発防止と、特定の業者との付き合いをしないよう伝達した。

**問** 副市長の議員に対する問題発言について、市民からも問い合わせがあるが。

**答** 市民の皆様には大変申し訳なく思っており、深く反省している。



市の FREE Wi-Fi

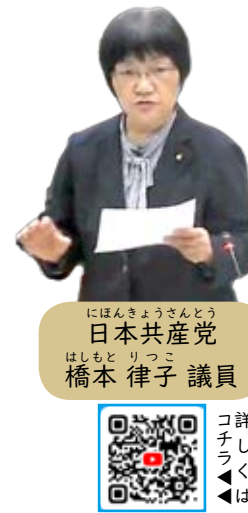
**問** 市長の任命責任をどう考えるか。

**答** 任命責任者として厳重に注意し、再発防止に努め、市政発展に努めていく。

**市Wi-Fi(ワイファイ)**

**問** 市民から通信状態がよくないとの意見があるが。

**答** その都度状況を確認し、適切に対応している。要因として、認証に係る問題であったり、利用者の端末の問題と考えられるものが複数あった。



## 本人の知らないうちに

**18歳・22歳の個人情報保護**

**問** 自衛隊への個人情報の提供について、除外申請の提出件数は。

**答** 2年間で問合せ2件、除外申請提出は1人となっている。

**問** 高校生への周知は。

**答** 広報こばやしと市のHPで周知している。

**問** 延岡市では個人あてに郵送で知らせた結果、申請が前年の1人から150人に増えた。本市でもできないか。

**答** 現在のところ個人への周知は考えていない。

**意** 当の本人が知らないまま個人情報を外へ出すべきではない。



高校生はほとんど知らなかった

**議員へのハラスメント問題**

**問** 行為者から、不適切な言動をした理由を聞いたか。

**答** かつての上司と部下の関係でもあるので、通常からそういう言葉を使っていたものと思う。

**問** なぜ市長から議場など公の場での一言がなかったのか。

**答** 抗議文では、再発防止策と、しかるべき措置を取ることに2点でいいということだった。

**意** これは個人対個人の問題ではない。抗議文を受け取った場で厳重に注意したと言うが、二元代表制の意義をきちんと確認していただきたい。

## 副市長による問題言動

**問** 副市長による議員への威圧行為は、発言権の侵害であり、制度上の対等性を否定する。副市長への処分が「厳重注意」にとどまったのは二元代表制の危機ではないか。

**答** 副市長には不適切な言動があったため厳重注意を行った。車の両輪のごとく連携が必要であり、市政発展に尽くしていくことが重要である。

**意** 二元代表制とは、市民の信託を受けた二つの独立機関がお互いに監視と協力の関係を築くことによって、市政運営における民主的正当性と説明責任を担保する制度。それを「かつての上司と部下」という関係を持ち出す市長の説明は、制度理解の根本を誤るものではないか。看過できない。



## 人口減少と税と組加入

**人口減少と税の相互関係**

**問** 過去15年で約6600人の人口が減少しているが、令和5年度の市税は、10年前と比べて約6億3000万円増えている。市税のうち、固定資産税が大きく増えた要因は。

**答** 物価高騰により新規取得の家屋や償却の評価額の上昇、太陽光発電設備の増などに加え、収納率が上昇したため。

**問** 市民税が増えた理由は。

**答** 給与所得者が1000人ほど増え、収納率が上昇したため。

**問** 財政計画では市税は減少すると予測しているが、試算の根拠は。



**答** 将来の人口推移等により推計。生産年齢人口の減少を予測し、緩やかに税収が減少していくと見込んだ。

**【組】加入と区の業務**

**問** 現在の区・組の加入率を考えると、行政は維持・存続対策を考えるべきでは。

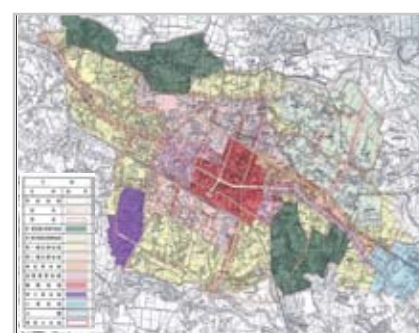
**答** 時代に即した区の在り方を検討し支援を行う。

**問** 区長は充て職としての業務が多く、負担が大きい。サポート体制の整備は図られているのか。

**答** 各課が依頼している業務量を調査し、区の在り方検討部会において負担軽減の検討を行う。



組加入で成り立つ公民館事業



都市計画税廃止に期待

**都市計画税の見直しは**

**問** 都市計画税は平成21年に「段階的廃止」と答申が示されたが、未だ見直されていない。過去の一般質問から5年が経過したが、検討や準備は進められてきたのか。

**答** 物価高騰が収まる気配がなく、より厳しい状況。このような時期に大きな変化の判断をすべきではないと考えており、適切な時期に判断し進めていく。

**意** 市民の声が長年放置されており、廃止・見直しの議論を早急に始めるべきである。

今年も6月に市内小学校の6年生の皆さんが議場見学・議会傍聴に来てくれました。  
子どもたちが書いた感想文をQRコードから読むことができます。



1組  
感想文

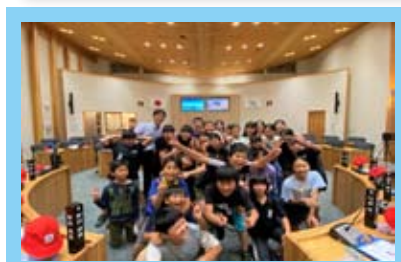


三松小学校  
(6月5日)

3クラス  
88名



2組  
感想文



3組  
感想文



感想文



細野小学校  
(6月10日)  
38名



西小林小  
感想文



西小林小学校・幸ヶ丘小学校  
(6月12日)

幸ヶ丘小  
感想文



34名



1組  
感想文

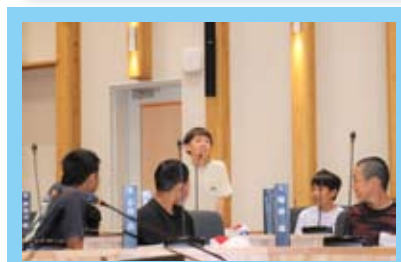


小林小学校  
(6月2日)

3クラス  
77名



2組  
感想文



3組  
感想文



1組  
感想文



南小学校  
(6月9日)

2クラス  
46名



2組  
感想文



## 令和6年度政務活動費の実績を報告します

「政務活動費」とは、議員の調査研究等の活動に必要な経費のことです。

例えば、先進的自治体の取組の調査、市民の声を聞くためのアンケートや会議開催、必要な資料等の購入や研修会の受講などに使われています。

小林市議会では、条例に基づき「政務活動費」を各会派に交付しています。  
交付目的：議会議員の調査研究その他の活動に資するための経費として交付  
交付額：1人当たり 月額1万5千円（年額18万円）

### 令和6年度政務活動費の実績報告

(単位：円)

| 科目              | 会派名                                                       |                                                       |                          |                              |                      |                 |              | 総計        |
|-----------------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------------|------------------------------|----------------------|-----------------|--------------|-----------|
|                 | 立新会<br>貴嶋 憲太郎<br>押領司 剛<br>有木 将吾<br>松嶺 勇一<br>小川 真<br>堀 研二郎 | 創生<br>こばやし<br>原 勝信<br>永野 雅己<br>吉藤 洋子<br>舞田 重治<br>金松 勲 | 日本共産党<br>大迫 みどり<br>橋本 律子 | 北霧島<br>政新会<br>高野 良文<br>野田 利典 | 新生会<br>能勢 誠<br>前田 隆博 | 立憲民主党<br>竹内 龍一郎 | 公明党<br>鎌田 豊数 |           |
| 政務活動費<br>交付金(A) | 1,080,000                                                 | 900,000                                               | 360,000                  | 360,000                      | 360,000              | 180,000         | 180,000      | 3,420,000 |
| 調査研究費           |                                                           |                                                       |                          | 114,420                      |                      |                 |              | 114,420   |
| 研修費             | 920,660                                                   | 898,592                                               | 66,000                   | 241,795                      | 290,340              | 29,000          | 155,500      | 2,601,887 |
| 広報費             | 79,200                                                    |                                                       | 128,085                  |                              |                      | 71,530          | 1,936        | 280,751   |
| 広聴費             |                                                           |                                                       | 17,879                   |                              |                      |                 |              | 17,879    |
| 要望・陳情<br>活動費    |                                                           |                                                       |                          |                              |                      |                 |              | 0         |
| 会議費             |                                                           |                                                       |                          |                              |                      |                 |              | 0         |
| 資料作成費           |                                                           |                                                       | 40,776                   |                              |                      |                 |              | 40,776    |
| 資料購入費           | 10,200                                                    | 1,408                                                 | 107,260                  | 3,785                        |                      | 79,470          | 14,780       | 216,903   |
| 人件費             |                                                           |                                                       |                          |                              |                      |                 |              | 0         |
| 事務所費            |                                                           |                                                       |                          |                              |                      |                 |              | 0         |
| 支出実績額           | 1,010,060                                                 | 900,000                                               | 360,000                  | 360,000                      | 290,340              | 180,000         | 172,216      | 3,272,616 |
| 交付確定額<br>(B)    | 1,010,060                                                 | 900,000                                               | 360,000                  | 360,000                      | 290,340              | 180,000         | 172,216      | 3,272,616 |
| 返還額<br>(A-B)    | 69,940                                                    | 0                                                     | 0                        | 0                            | 69,660               | 0               | 7,784        | 147,384   |
| 執行率(%)<br>(B/A) | 93.52                                                     | 100.00                                                | 100.00                   | 100.00                       | 80.65                | 100.00          | 95.68        | 95.69     |

※

(※) 残余金はすべて市に返還済みです。

#### 使途の透明性

使い方については、使途基準や留意事項などを細かく決めて支出しています。

また、収支報告書には全ての領収書を添付して、5年間保管しています。

詳細は右のQRコードから、小林市議会「政務活動費」のページをご覧ください。





穂屋下古石塔群 案内柱

水流迫地区にある穂屋下古石塔群は、鎌倉時代から室町時代末期まで、遠見番所として引き継がれた幹部級番兵（見張りをする兵）である武家一族の供養塔であると考えられています。

遠見番所とは戦国時代、戦いに備えて敵をいち早く発見して通報する役割を担っており、この場所は小林原地区の東端に位置し、市内東南部を一望できるため、ここに置かれたのではないかと言われています。

## 語り継ぐ小林の歴史 シリーズ④ 市指定有形文化財 穂屋下古石塔群

明治12年頃、この土地を「穂屋下十二人組」が開田した際に、古石塔の残欠（一部分が欠けていて不完全なもの）が多数出土したと記録に残っています。のちにその付近を開田した前原兄弟の手でさらに掘り出され、それを教育委員会が昭和53年4月に、南九州古石塔研究会の黒田清光氏の指導を受け、整備し復元されました。

そして、この古石塔群は、平成2年3月に小林市指定有形文化財に指定されました。

このひっそりとたたずむ古石塔群を通して、小林市の歴史を今一度探訪してみたいかがでしょう。

参考文献：小林市史・小林市の文化財  
ガイド用資料集 増補版  
（小林市ガイドボランティア協会）  
取材・編集：野田 利典／貴嶋 憲太郎

○議会への提言・疑問・質問などお寄せください。

---

---

---

---

---

---

○今回の「はなみずき」で関心のあることや感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイデア」があればお寄せください。

---

---

---

---

---

---



古石塔



穂屋下古石塔群 アクセスマップ

## 市民の声

傍聴アンケートやお便り、読者モニターの方から寄せられた意見・ご要望をピックアップして回答いたします！

### ～傍聴アンケート～

Q1. 区・組への加入をもっと話し合ってもらいたい。

A. 議会傍聴ありがとうございました。市議会では毎年、区長会と地区の現状や課題などについて、意見交換会を行っています。また、6月議会でも複数の議員が、区・組の問題を一般質問で取り上げました。

### ～はがき～

Q2. はなみずき読者モニターの年齢配分は配慮していますか？高齢者のモニターの割合が少ないのはなぜですか？

A. 昨年は高校生議会等の主権者教育に力を入れた経緯もあり、若い世代に市議会のことをもっと理解してもらって同世代の方々に広めてもらえたらという思いで高校生モニターの枠を増やしたところです。幅広い世代から読者モニターを選考するために一般公募もしていますが、ご指摘の件も踏まえて次回に生かしていきます。

Q3. 議会の配信動画にチャプターがあると長い動画が見やすいです。

A. ご提案ありがとうございます。動画をチャプター（章）に分割することで見やすくなるというご意見だと思います。他自治体の事例も参考にしながら、皆様が見やすい動画の編集に努めてまいります。

Q4. 軽トラックの貸し出し制度があると粗大ごみや剪定木等のごみ搬入の際に助かると思います。

A. いただいたご意見は、市生活環境課や所管の市民厚生委員会にもお伝えしました。なお、市では、高齢者の一人暮らし等の条件はありますが、粗大ごみの個別収集を行っています。詳しくは、「ごみ分別虎の巻」もしくは市清掃工場（TEL24-0959）まで。

Q5. 副市長の件が新聞等で問題になっていましたが、議会としてどのような対応をされたのですか。

A. 副市長による議員への不適切な言動に対しては、議会の総意により、議長が市長に抗議文を提出しました。これを受け、市長は副市長に対し厳重注意を行うとともに、再発防止に努めるとしました。

### ～読者モニター～

Q6. 高校生議会は録画配信も観れたので、高校生の率直な意見が聴けて興味深かったですし、意見の内容は、そのまま市の問題・課題となるものもたくさん含まれていました。

A. 初めての開催でしたが、高校生ならではの目のつけどころや提案もあり、驚かされるとともに、とても頼もしく感じました。今年度も開催へ向けて協議を進めています。



今回もたくさんのご意見をいただきました。広報広聴委員会では、掲載できなかったご意見も含め、全てのはがきやアンケートに目を通しており、対応や改善ができるところはないかを協議しています。



前田 隆博 議員の

イチオシ!!

地域を助ける  
存在となれ!

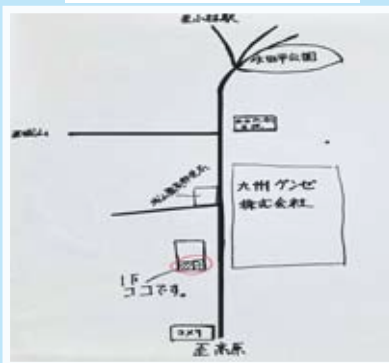
現在、細野まちづくり協議会では、「地域に買い物ができる商店が減少している」という地域の課題を解決するために、日用品や駄菓子の販売のほか、惣菜等の加工場も併設した施設の整備を進めています。同協議会は、県のモデル事業の採択を受けており、今年度中のオープンを予定しています。地域の子どもたちにも愛着を持ってもらえるよう、小・中学生から店舗名を募集し、『**細野<sup>さくら</sup>商店**』という名称に決定しました。

誰もが気軽に集える施設を目指しており、いずれは買い物が困難な方のための移動販売も検討しているということです。

現在、細野地区では、歩いて行ける買い物施設がほとんど無い状況です。そこで、この施設がオープンして、少しでも地域の人々の助けになれば良いし、なと思っています。地域住民の期待の星となってほしいです。



細野さくら商店外観



アクセスマップ

## お詫びと訂正

前号の「はなみずき No.72」16 ページ中「鎌田議員のイチオシ!!」において、取材した団体の名称に誤りがありました。正しくは「宮崎こばやし熱中小学校」です。大変ご迷惑をおかけしましたことを、お詫びして訂正いたします。

## ◆次の9月定例会（予定）は

開会日…9月1日（月）  
一般質問…9月3日（水）～8日（月）  
議案質疑…9月10日（水）～11日（木）  
閉会日…9月30日（火）  
◎突発的な事情等により変更となる場合があります。

議会  
中継

◎定例会の「本会議」はライブ配信しています。インターネット検索またはQRコードからアクセスしてご覧ください。

小林市議会 動画配信

検索



## 編集後記

新体制となりました！（P3）  
思わず手に取って読みたくなる日本一の議会だよりを目指します。  
読者モニターさんも大活躍！  
小林市議会公式 YouTube チャンネルの登録もよろしくお願いします！

広報広聴委員会 委員長 堀 研二郎

チャンネル登録  
はこちら新体制  
小林市議会  
動画

料金受取人払

小林局承認

464

差出有効期間  
令和9年7月24日まで  
(切手を貼らずにお出しください)

郵便はがき

886-8790

(受取人)

小林市細野 300 番地

小林市役所 議会事務局

広報広聴委員会 行

(はなみずき No. 73 2025.6 月議会号)



ふりがな

ご氏名(イニシャルまたはペンネームでも可)

□□□-□□□□

ご住所

お電話 ( )-( )-( )